



2021年 1月人権一口講座



「新しい年のカレンダー」

この熊本市ふれあい文化センターは「生活文化及び福祉の向上を目的とした施設」ですが、一年間を通しての子ども向け講座「きつずイングリッシュ」を開設しています。これには、人権について考える契機作りと、高齢者との異年齢交流へといかばかりか繋がって欲しいとの願いを込めています。

先月の土曜日、「きつずイングリッシュ」参加の男の子が、「始まるまで廊下に居ていいですか？」と私に声をかけ、水筒や筆記具、帽子などを部屋に置くことすべく出ていきました。後を追っていくと廊下壁面に掲示してある「パネル」をじっと見つめ説明文を読んでいた。

「興味あるの？」と聞いてみると「水俣に行く学習がなくなったので丁度ここにあったから読んでいたんです。」と返答してくれました。

(※見てくれる子どもがいたーやはり、きつかけ作りや場を設けることは大事だ！)

すると、今まで学習室内に居た他の子どもまでも出てきて「へえ、こんなにたくさんさんのパネルがあつたんだ。あつ、他にはインターネットのものもあるー」と次々と掲げてあるパネルを隣へ隣へと動いては見ていました。

このセンターは「人権尊重につながる意識・行動の育成啓発」を目的に建てられた経緯があります。なので、機会を捉えては「人権啓発」に繋げての取組をしています。例えば、夏や秋の短期講座開級式では、「コロナ差別をしない」として人権講話も取り入れました。他にも十月から十二月にかけて、ふれあい文化センター通年開催の講座クラブ生に「人権啓発講話」への参加もしていただきました。

十二月、令和二年度「人権啓発作品募集」の表彰式が開かれました。当センターからも「絵手紙講座」講座生が入賞されました。そして現在、「二階ロビー」では小中学生の作品に限定して「入賞作品紹介」(※カラーコピー)を実施しています。

さて皆さんは「人権カレンダー」を「ご存じですか？」市内の小中学校から多くの作品応募があり、新しく作成された来年度向け「人権カレンダー」には、今回選出された作品が掲載されます。もちろん、新しい「人権カレンダー」は、ふれあい文化センターでも掲示されます。センターにも新しいカレンダーが届きます。今から開けて見ることに、それが楽しみでなりません。

私は、今年も一言つぶやいて開けてみます。

「新しい年ももっと人権を大切にす熊本市となりますように」

短いメッセージ

手をつなぐ
二人のかけが

あたたかい

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会のカレンダー 楡木小学校5年 中村優月さんの作品より